これが私のポケモン保護繁殖活動がんばリーリエ!!

全差分まとめ：542ページ ― ストーリーページ(139枚)+テキストレスページ(132枚) 肌色Ver&青肌Ver

これは、没落したエーテル財団の名誉挽回ため、
起死回生の一手として行われた実験の記録である。

では、これから
《試作型メタモンスーツ》の
試用実験を行います。
どたぷんっ！
たぷんっ
たぷんっ

リーリエ様
準備はよろしいでしょうか？
がんばりーリエ！
はいっ！
準備万端です！

体調のほうは？
その…生理とか　大丈夫でしょうか…
せいり…？　あの…よくわかりません…
なるほど…　まだ初潮が来ていないなら
最悪の事態は避けられそうですね…

リーリエ… 本当にあなたがやるの？
何が起こるかわからない危険な実験なのよ？

母様　私はエーテル財団代表の娘です
母様のために　お手伝いをさせてください！
危険な実験だからこそ　私のような
立場の人間が受けるべきです
そ…そこまで言われてしまうと…

そうね　そのときは頼むわよ
代表…　私もサポートいたしますのでいざという時は私が……
？

ここは、エーテル財団の本拠地。そのとある実験室。
無機質な壁に囲まれた密室。
その中にリーリエという少女と、ビッケという女性職員。
一面だけ強化ガラスの窓があり、外から見守る女性。
名はルザミーネ、エーテル財団の代表であり、
リーリエの母親である。

ではメタモンを出します
以後 この部屋の扉はロックされ
完全な密室となります
も～ん

ロックの解除はメタモンの
再捕獲が必要となります
つまり
メタモンがボールの外に出ている間は
扉のロックはかかったままです
ももん！

あ 色違いなんですね
この子が その…
《メタモンスーツ》に
なるんですか？
はい メタモンには
変身能力があります
その能力を活かして
人間に着衣可能なスーツに
なるのがこの子の役目です
もぉ～ん

今、彼女たちが開発に躍起になっている
《メタモンスーツ》とは何か。
端的に言えば、それは人間とポケモンの距離を、
今よりも縮めることをコンセプトとしたスーツである。

エーテル財団はポケモンの保護を活動理念に置いた組織。
傷ついたポケモンの治療。
個体数の減ったポケモンの繁殖。
しかし、人間を恐れているポケモンは少なくない、
保護活動の効率化のため、何としても
《メタモンスーツ》を完成させる必要があったのだ。

では実験を開始します！
リーリエ様　これからメタモンが
覆いかぶさるように体に密着します
一瞬　息苦しいですが
すぐに肌と一体化しますので
安心してください
は…はい！

では メタモンさん
スーツに変身してください
もん！
ふ…不束者ですが
よろしくお願いします！
メタモンさん！

ひゃん❤
も～ メタモンったら
くすぐったいよぉ
ももーん！
え!?
リーリエ!?
様子がおかしい…!?
こんな行動は…
見たことがないです！

ビッケ！
今すぐメタモンを回収して！
こ…こんなはずでは…
ちょ…
ビッケさん！
このメタモン　すごく
エッチじゃないですか？
も～ん❤
キャッ!?

はやく!!
は…　はいっ！
んはぁぁあっ!

メタモン！
やめなさい!!
メタモン！
戻ってください!!
でかいいい…っ!?
お…お股の中に……
入ってきますううう…ッ!?

お…お腹の中にぃぃ…ッ❤
ぐはぁぁぁッ!!
ダメ…!
間に合いません!
リーリエ!しっかりして!

ひんぁ…っ!
ん…っ
ううう〜〜ッ!!
リーリエ様!?
リーリエ!?

なに…!?
何が起こったの!?
私…メタモンを…
体の中に…
リーリエ様…
お体のほうは…!?
リーリエ!!
無事なの!?

リーリエの膣から体内へと侵入したメタモン。
一見、何事もなかったように見える少女の体。
しかしその胎内では、確実にある変化が起こっていた。

リーリエの体へと侵入した
メタモンが到達した先は、子宮。

このメタモンは《メタモンスーツ》として
触れたものに一体化するよう
特別な訓練を積んだ個体。

そう、彼が一体化した先は子宮であった。

まだ未成熟な子宮は、何色にも染まる白。
彼が作り変えるには打ってつけの苗床だ。

メタモンは、あらゆるポケモンと
交配可能な特殊な繁殖能力を持つ。
その能力をリーリエの子宮で再現し、
効率よく繁殖し子孫を増やす。
それが彼(メタモン)の目的だった。
もんも~♪
ズズズ

はぁ…はぁ… アレ？
何とも…ない…？
？
大丈夫です…
実験を続行してください…
一体化はできたみたいです…から…
で…ですが…
これは異常事態です
そ…そうよ！
実験は中止します！

実験中止を進言するルザミーネ。
それもそうだ。今、リーリエの体は
ポケモンを孕めるかもしれない危険に瀕している。
お言葉ですが 母様
メタモンは今 私の体の中
この子をボールに入れなければ
私たちはこの部屋から出られないんです
彼女の汗や唾液、あらゆる体液からは、
ポケモンのオスを魅了するフェロモンが放たれている。
もしこの場に他のポケモンがいれば、
リーリエは犯されてもおかしくない状況だ。

しかし、性知識が皆無なリーリエは危機感も無い。
彼女は「キスをすれば子供ができる」と信じているぐらいには純朴なのだ。
実験を続ける価値は…
コーン！
え？
ポカン…！

シロン!?
ダメじゃない
勝手に出てきちゃ
コ～ン
この子は……
リーリエ様のロコン？

トレーナーの命令もなく
勝手にボールから出てきたのは、
リーリエの相棒のアローラロコン。
名はシロンだ。
まさか!?
今はお仕事中だから
ボールに戻っててね シロン
後で遊んであげるからね
コーン!
彼は今、ある本能に駆り立てられていた。

リーリエ！
シロンから離れなさい！
え？
!?
!?
ヒカッ
キィィィー
シロンにとって、またとないチャンスが転がり込んできたのだ。
彼（シロン）に目覚めたのは生殖本能。

キィィィィ

え？

な…!?
シロン!?

これは…
進化の光…!?

「こおりのいし（進化アイテム）」を
使わずに…なんて…
あ…ありえない…!?

メタモンと一体化したリーリエが
放つフェロモンは、シロンの野性を呼び覚まし。
性欲という強い意志は、彼（シロン）をオス（キュウコン）へと進化させた！

コオオ～～～ン！
うわー　おっき～い
よくわからないけど　凄いよシロン
キュウコンに進化しちゃうなんて！

あれ？ シロン
お股にぶら下がってるのって なぁに？

シロンの進化に喜ぶ、能天気なリーリエ。
だが、キュウコンの股にはリーリエの知らない
男の本性がぶら下がっていた。

余りの事態にビッケとルザミーネは声が出ない。
下手にシロンを刺激すれば、何をするかわからない。
だが、このまま見ているだけでは
最悪の事態をただ待つだけだ。

キャッ!?

!?
リーリエ!?

あわわわわ…
ブル…
ブル…
ブル…
ブル…
ヘナヘナ……
ジワァ〜〜…

リーリエ！
今すぐシロンから離れて！
ビッケ！　あなたも
見てないで助けなさい！
あのぅ…　ご…
ごめんなさい…
腰が抜けてしまって…
動けなくて…
ハッ
ハッ
ハッ
シロンってば
も～何するの？

ビッケは、部屋の隅でへたり込んでしまった。
恐怖のあまり、というのもあるが。
シロンのフェロモンに当てられ、
腰が砕けてしまったのだ。
なんてオス臭さなんですか…!?
臭いだけで腰が砕けてしまいました…
ビッケは、ポケモンのオスフェロモンに敏感な体質だった。
その原因は彼女の過去にある。

彼女はかつてポケ姦を経験している。
そのときにポケモンと交配可能な体なってしまった。
《ボテルス》というウイルスの影響によるものだ。
《ボテルス》はポケルスの亜種。

ポケモンの成長を促進させるポケルスとは違い、
《ボテルス》はポケモンの繁殖力を上げる。
人間への感染事例もあり、感染した人間は
グラマラスな体へと成長し、
最終的にポケモンのと交配可能な体を手に入れる。

故にビッケはポケモンのオスフェロモンに
人一倍敏感、効果は抜群なのだ。
逆に、メスとして成熟したビッケのフェロモンは、
シロンにとっても効果は抜群のはず。
なぜ…!?
私ではなく…
リーリエ様が…!?
にもかかわらず、発情したシロンが真っ先に襲う相手は
ビッケではなく、まだまだ尻の青いリーリエだった。
この実験が始まる前、ビッケがルザミーネに言った
「いざという時は私が」という言葉は、「いざという時は
自分が犯されるからリーリエは無事だ」という意味だった。

一方、ルザミーネは目の前で
娘が穢される状況に、半ば半狂乱。
娘を愛す親ならば、当然の反応だろう。
イヤーッ!!
誰か止めて！
ここを開けて!!

しかし、親心子知らず。
性知識が皆無なリーリエは、
現状を正しく判断できていなかった。
母様？
いったい何をそんなに
焦っているんですか？
ほら シロンとの距離も
こんなに近づきました
私に怖がる様子も全くありません
メタモンスーツの実験は成功ですね！

リーリエ！
リーリエ様！
おっ
!?
ビクッ

グルルルル…
リーリエ！
逃げなさい！
もうシロンったら　何？
おちんちん押し付けて
汚いよ？
逃げてください！
リーリエ様！

嫌ァ！
リーリエ!!
リーリエ様!!

コーン…
ウソ…うそよ…
これ…おちんちん…？
おちんちんが…
お腹に入っちゃった…!?
こんなことに…
なるなんて…

リーリエは状況が理解できなかった。
シロンが自分の体内にペニスを挿し込んだ理由も、
痛みの中に潜む魅惑的な快感も。
リーリエは予想だにしていないだろう、
自分の胎の中で壮大なラブストーリーが
繰り広げられていることを。
ついに出会ってしまった運命の二人。
男性器と女性器
しかし、2人は出会うべきではない異種だった。

ハッ
ハッ
ハッ…
ズリュ
え!? 何が起こって…!?
シロン… 何やってるの!?

シロン！
今すぐやめなさい！
嫌ァ！
おっ！
おっ！
ほ！
ほぉっ！
シロンさん！
リーリエ様は
あなたのセッ…
その行為にまだ耐えられる
ような体じゃありません！

待って…あへっ
シロン…っおっ
おっほ
なんで!?
こんなこと…っ!
私…シロンに襲われてる!?
怖い…! 何されてるの!?
気持ちいいのが余計に怖い!!
変な声出ちゃってる…!?

キュウコンにとって初めての女体、初めての交尾。
そう、彼は童貞だ。一心不乱に腰を振る。
その度に快感が走る。これが交尾なのだと彼は悦ぶ。
ハッ
ハッ
ハッ…
シロン…気持ちよさそう…
なんでかわからないけど…
シロンがこうしたいなら…私は…
相手（リーリエ）に気を使う余裕はない、
独りよがりな腰使い。
何も知らないリーリエでも、
不器用な腰使いにシロンが慣れない事で
手こずっているのは伝わった。

なぜ自分が襲われているのかわからないが、
シロンから悪意や敵意は感じられない。
もっと純粋な何かをぶつけられている。
むしろ好意を向けられている。
キュキュ～ン…
んっ…
はぁ…
もう…❤
甘えん坊なんだからっ❤
いつの間にか、
リーリエの中から「恐怖」は消えていた。

母様　ビッケさん…
私は…大丈夫です…
リーリエ…
リーリエ様…
シロンは…ちょっと…
激しめに…甘えてるだけです
こんなスキンシップも
できるようになるなんて
メタモンスーツって凄……

リーリエぇぇ!!
リーリエ様ァ!?

え…？
お腹が重い…!?
膨らんだ…!?
妊婦さんみたいに…
んお…っ
ほへ!?
妊婦!?
何か注がれた!?
この白いドロドロは何!?
おちんちんが脈打って…
お腹が熱い!?
射精された…
あんなにお腹が膨らんで…
ウソ…
こんなの！
ウソよ！

状況を整理しようとするリーリエ。
しかし、性知識の無いリーリエにはわけがわからない。
だが、妊婦のように膨らんだ腹から
「妊娠」連想するのはリーリエでも容易だった。
そもそも、考えようとしても
胎から込み上げてくる快楽で
思考がまとまらない。
知らない現象だが、気持ちがいいのは事実。
だからこそ、恐怖を覚える。

だが、気持ちよさそうなシロンに何故かホッとする。
彼をもっと気持ちよくしてあげたい、幸せにしてあげたい。
そんな庇護欲に駆られるのだった。
クゥ～ン…
シロン…？

シロン…気持ちいいの？

コン！

大丈夫…私も…気持ちいいから
シロンの好きに動いていいよ？

んはぁっ！おっ
シロン！
シロンが気持ちいいなら…
んへっ
私は…っ
ホッペチ！
気持ちいい？
んっほぉ！

ヘッ!
んぉっ!
んほっ!
おっほいっ!
嫌ァ!
適応している…!?
この今短時間で…ポケモンの巨根と射精に…
もしかして…リーリエ様は…《ボテルス》に感染していた!?
リーリエが壊れちゃう!私のリーリエが!
ビッケ…どうにかできないの!?

代表！
リーリエ様は《ボテルス》に感染している可能性があります！
《ボテルス》って貴女が感染しているアレ!?
はい ポケモンとの交配に耐えられる体になります…
ですが… その代償として…

ボテルスの代償…
リーリエ…そんな…
でも…無事に帰ってこれるなら…
射精のタイミングを
すでに掴んでいる…!?
こんな年端も行かない体で…
にゃにかくりゅ…っ!
何か来る
さっきのドクンってやつ…っ❤
おちんちんから…
気持ちいいヤツ!

コォーン!!

ドッ!!
ほへぇぇぇっ!
ちんちんからキモチイイのぉぉぉぉぉっ!!
ビュービューきたぁぁぁぁぁぁっ!!
おにゃかが悦んでりゅうぅぅっ

ほっ ほっ
ほんげぇえぇ～～…
コォ～ン…
おにゃかおん(お腹)もお～～
しあわし(幸せ)え～…
シロンも幸せ？
コン！
一緒だね 私も
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

リーリエの口から出てきた「イク」という単語。
絶頂の意味も解らなかったが、
「イク」という言葉だけは自然と漏れた。
もはやリーリエは快楽に抗う気は無かった。
シロンと一緒に気持ちよくなりたい。
そんな感情が優先された。

今 私… イクって言った？
知らない言葉なのに
勝手に出てきちゃった
おかしいね シロン
コン！

リ…リーリエ様…
お体の方は…
ビッケさん　大丈夫ですよ♪
ちょっとお腹が重いかなぁ～
って気はしますけど…
こんなにお腹が
膨らんでいるのに…
体は無事…
代表　やはり
リーリエ様は…
そ…　そのようね…
良いのか…悪いのか…
わからないけど…
とにかく無事に
帰って来て…　リーリエ！

リーリエは間違いなく《ボテルス》に感染しているだろう。
ボテルスに感染した少女は、普通とは違う発育の良さを見せるのが特徴だ。
しかし、リーリエの場合は潜伏期間だったのだろう。
あれ…？
おっぱいから…なにこれ…？
それが、ポケモンの精液を子宮に受け、《ボテルス》が待ってましたと言わんばかりに活性化しだしたのだろう。
今まさに、リーリエという少女の体は、母体へ進化している。
そして、その決定的瞬間が訪れた。

早速、症状が出る。
それが、乳腺の活発化による
乳房の膨張と射乳だ。
え…!?
おっぱい(母乳)…!?
リーリエが…
私のリーリエが…
こうなるとは…
思っていましたが…
リーリエ様を…
こんな目に合わせて
しまうなんて…

母乳、それぐらいはリーリエでもわかる。
故に自分の体は、子供を産もうとしていることは
性知識がなくとも紐づけられた。
妊婦のように膨らんだ腹、
胸から溢れる母乳、
結合部から発生する快楽、
膨らんだ子宮から込み上げる多幸感。
少しずつだが、リーリエはキュウコンが自分に何をしているのか、
彼が自分に何を求めているのかわかっていく。

キュ～ン…
シロン…
あなたもしかして…

コン！
いいよ❤
もっと出して
あのドピュドピュ
そっか…わかっちゃった❤
私…今…シロンの…作ってるんだ
こうやって…作るんだ…❤

コンッ!!

おにゃかが幸せになりゅ
お汁きたぁぁぁぁぁ!!
おちんぽぉぉぉぉ!!
ぉぉぉぉ

どくん…！
どくん…！
ドバババッ
ドバッ
ギチギチッ
ギチギチッ
ボッ
ボッ!!
これが…っ
赤ちゃんの
主系おおおっ!!
え…!?

ぴくん…！
ぴくん…！
ドバババッ
ドババッ
言二の赤ちゃん…っ
産みゅうううーーっ!!

ブオオオオオ…
リーリエ…
気づいてたの…!?
リーリエ様
なんでそれを…

言葉を交わさずとも通じ合う、
種族が違ってもオスとメス。
えへへ。
おへっ。
やっぱり…
そうなんだ…
赤ちゃんって…
こうやって作るんだ…
リーリエは悟った。
シロンは自分に子供を産んでほしいのだ。
そして、これが子作りなのだと。

ズリュゥゥゥ〜〜〜〜…
ぬっちゃああ〜〜〜…
もっと…
シロンともっと…
仲良くなりたい…
人間じゃなくて
ポケモンとして…
シロン 作ろ？
私たちの愛の結晶…❤

シロンと二人三脚で、この行為を
もっと気持ちよく、上手になりたい。
動機こそは初々しいがその実態は、
恋人が愛を確かめ合うセックスでもなければ、
子作りを行う夫婦の妊活でもない。
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

上手ぅ❤最初より…
いいトコ…当たりゅう！
ただただ、子孫繁栄のためだけの本能のぶつかり合い。
生殖本能という生物のプログラム通りに腰を振る機械。
獣の交尾そのものだ。

私のリーリエが…
こんな顔をして…
こんな声を上げるなんて…
なんて下品な…
あの…リーリエ様が…
清楚さの欠片もない…

ズリュゥゥゥ〜〜〜〜…
母様…！
見ていてください！
リーリエが…
ママになるところ！
母様の孫を作ることろを！

見てぇ!!

ぐぷっ!?
ぐぷっ!!
ぐぷっ!!
ぐぷっ!!

リリエのおまんこに
あかちゃん汁注がれるところ…
見てェェェ!!
ビュルルル…!
ビュルル…!
ビュルルル

ちんぽおおお

リーリエ…
やめて…そんな
顔しないで…
そんな下品な言葉…
使わないで…
ちんぽヤベェです…
子作り気持ち
良すぎんだろです…
んへぇ～～
にひひ～～えへっ
ビクン!
ビクン!
ビクン!

娘が悦んでいる…。
苦しんでいるよりは、遥かにマシだ。
幸福感を体全体で表現している。
綺麗だった顔を歪ませ硬骨な表情を浮かべている。
ルザミーネは憤りを感じずにはいられなかった。
このグチャグチャな感情はどこに向ければいいのだろうか。

ポケモンとの交尾。
人間とのセックスでは絶対に味わえない、
巨根と射精量による、快楽の濁流。
ヤ…ヤベェ…です…
戻れなくなる…
ニンゲンに…
思考が…
できねぇです…
脳みそが…
溶けやがる…です
そんな非常識な快楽を、
生殖の仕組みを知ったばかりの無垢な少女が
その未熟な精神で受け止めている。
理性は今にも崩壊寸前。
快楽を処理しきれない脳はショートし、
思考を子宮に乗っ取られたような感覚に陥る。

クゥ～ン…
シロン…？
意識がお腹の奥にあるみたい…
「子宮＝自分自身」のような錯覚、
それは、あながち錯覚でもなかった。

ドクン！
ドクン！
ゴクゴク
ゴクゴク
ヒュウ！
ヒュウ！
ヒュウ！
ヒュウ！
キュッ！
キュッ！
キュッ！
キュッ！

フォオオオ……
あっへえええ〜〜……
はれちゅすりゅ…っ
おにゃかもう無理ィィィィ…っ
ボテェ〜〜

リットル単位の射精が、
男を知ったばかりの子宮に流れ込む。
しかも、精液が溢れる様子がない。
子宮で全て包み込んだのだ。

ついさっきまでは、一度も排卵したことすらない。
生殖能力の備わってない未熟な性器だった。
しかし、ボテルスの影響か、それともリーリエ自身に備わっている転生の素質か。
一滴たりとも溢すのはメスとして無作法と言わんばかりに礼儀正しく完食する。
気品高くも下品な子宮に調教されていた。
ゴボ…ゴボボ…
ビクン!
ビクン!
ビクン!

ズリュウウ〜〜〜…
ズズズ…
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ウズッ
ウズッ
わたひ…ポケモンになりゅ…
シロンのお嫁しゃんになりまひゅうう…❤
お腹の奥が疼くぅ!!

ウズッ
ウズッ
おおおおおっ!!
私…シロン専用の
孵化厳選メタモンになるぅ!
おっ!
おっ!
ビクン!
ビクン!
ビクン

子宮の脇で今か今かと
自分の出番を窺う者がいた。
それは卵巣。
でりゅ…っ!?
何か出りゅ!!
ウズ…
ウズ…
まだ一度も排卵したことがない
リーリエの卵巣だったが、
初めてのときが今
この瞬間に来たのだった！

ビクン…!
ビクッ!
ビクッ
ビクッ!
ズボァーッ
ぴゅうぅっ!?

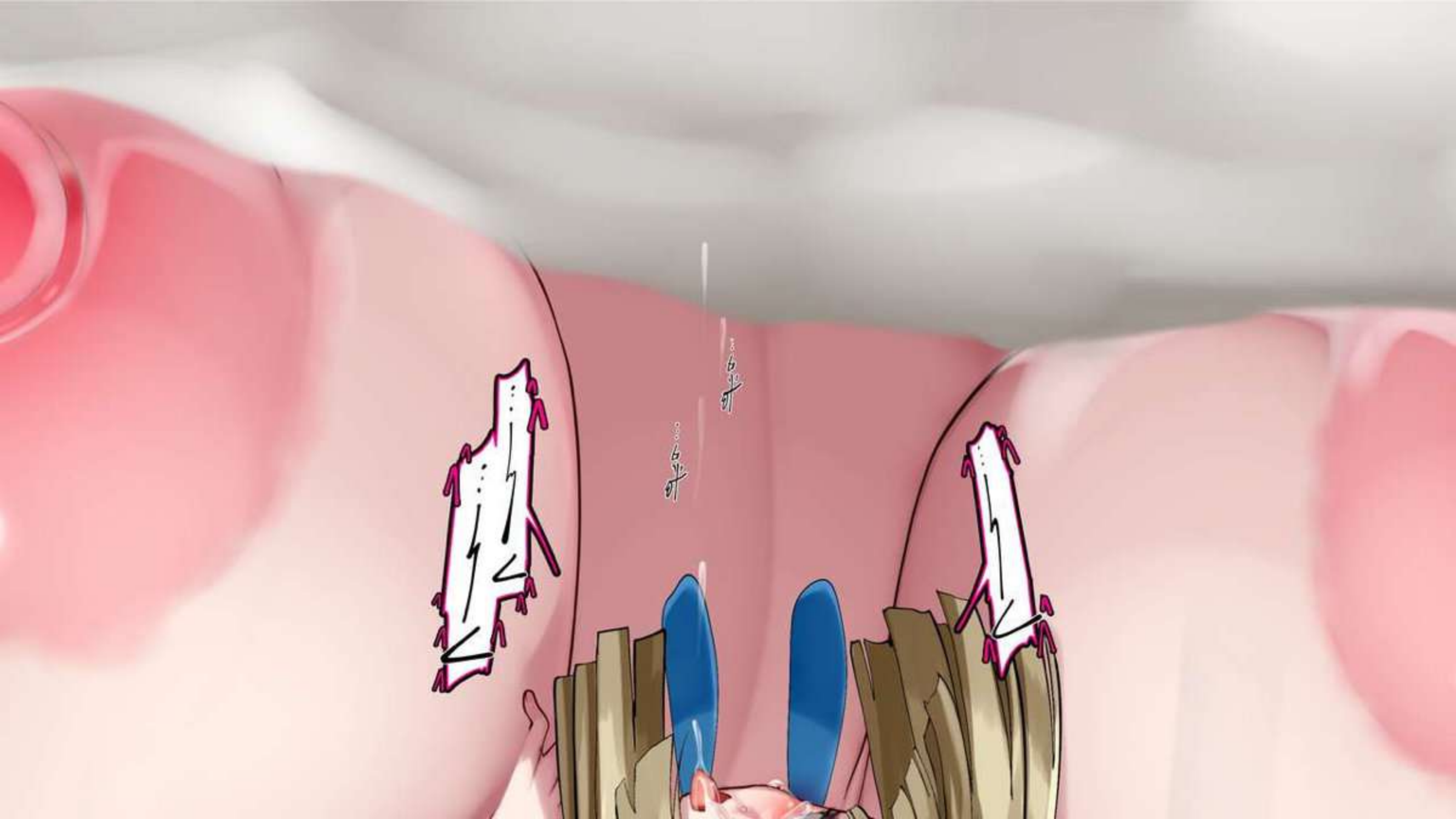
ゴクゴク
ゴクゴク

これがホントの一体化…
…ってね❤

リーリエの目の前が真っ白になった。
子宮の脇に実る卵巣。それが、大きく脈打った。
瞬間、チクッとした痛みとともに何かが産み出された。
彼女は初めての排卵を経験したのだった。
リーリエは人間でありながら、
交尾の刺激で大量排卵するという、
獣さながらの排卵。
人としては尊厳破壊に近い経験だが、
リーリエは多幸感に包まれていた。

目で見えたわけではないが、
脳裏に浮かぶ、卵子が受精した瞬間。
リーリエの遺伝子とシロンの遺伝子が、
2つが一つになった瞬間。
新たな命が生まれた瞬間だった。
リーリエ…

フーフー えへへっ❤
シロンの赤ちゃん… いっぱい❤
コン！
頑張って元気な赤ちゃん
産むからね シロン



こ…
ここは…？

お気づきになられましたか…リーリエ様…
ビッケさん？

リーリエ！
リーリエしっかりして！

母様…
リーリエは大丈夫です！
スゥ…
スゥ…
シロンも…
元に戻ってたんですね…
はい…
「こおりのいし」を使った正式な進化ではなかったためか…
一時的なものだったようです

そっか…
でも…これで証明されましたね
メタモンスーツの実用性
スゥ…
スゥ…
はい…
ポケモンの警戒心を
解く効果は実証
されましたが…
ポケモンを発情させて
しまうのは…想定外でした…

うぐ…っ!?
リーリエ…!?
!?
コン?
ビ…ビッケさん!
なにか…変です…
お腹の奥から…っ
…っ! リーリエ様
気をしっかり持って
聞いてください!
あなたはこれからポケモンの…
タマゴを…産みます!

タマゴを…産む…私が
人間の…私が…
安心してください！
私も…経験があります！
きっと… 絶対に大丈夫です！
コーン！
シロンさんも
応援してくれてます！

がんばって…
リーリエ…
私の呼吸に合わせて…!
ひっひっふー
ひっひっふー
で…出てきた…!
思ってたより大きい…
リーリエ様の頭ぐらいある…
も…もう少しです!
リーリエ様
ひっひっふー
ひっひっふー

産みゅうううー!!
ひゅるるるるるるるる
産卵アクメぞぞぞーッ!!
ボボボッ
ボボボッ
ドチャ

あれが…リーリエの…
私の…
産んだ…私が…
こんなにおっきなタマゴ…
ポケモンの赤ちゃん…
おつかれさまです…
リーリエ様…

まさか…まだ…
うぐっ!?
リーリエ!?

も～ん…
ぐぬっ
う…
産まれる…っ

で…出たわね
この野郎！
メタモンさん!?
もも～ん

ビッケ！早くその淫獣（メタモン）を捕まえて！
モン！
は…はい！

ごめんなさい
メタモンさん
少しの間　ボールの中で
反省しててくださいね
もん!?
ももん!?

良いから早く捕まえて！
またリーリエが
犯されたら許さないわよ！
もぉ～ん!!

ですが…
今回の事故は
私の責任です…
私は どんな処分も
受ける所存です…
ふぅ…
一件落着…ですね

ビッケさん　母様
私は今回の一件も一種の
「ポケモン保護」だと思いました
!?
え？
!?
何を言ってるのリーリエ!?
あなた…犯されたのよ…!?

最初は事故だったかもしれません
ですが私は途中からは望んで犯されていました
シロンをスッキリさせてあげたい
赤ちゃんを産んであげたい
これは紛れもなく私の本心です

ポケモン保護の根幹は
ポケモンへの慈愛…
その究極系ね…
それが…
エーテル財団の成すべき道…
なのでしょうか…

わかったわリーリエ…
私は否定しません
あなたは あなたの成すべきと
思った方法でやってみなさい
ビッケ 貴女に
処遇を与えます
は…はい！
今回の失態の責任として
リーリエのサポートをしなさい
は…はい!!

なんて事があったんです

え!?
!?
それ…ホントなの…!?

ってかリーリエさ…
つまり……その…
ポケモンと…ヤっちゃったの!?
はい!
このお腹を見て
ウソに思います?
だよね…
そのお腹が
物語ってるよね…
もんもん

で そのメタモンが
実験のときの犯人なの？
リーリエが犯される原因の

まぁ そうですね
犯人って言い方が
正しいかは微妙ですが

どたぷんっ！

もんもん

もんもん

でも彼に悪気はないと思います
ただ繁殖したかっただけですから

いやいやいや
それが私たちに
とっては害なんだって

なにはともあれ
その実験データを基に
メタモンスーツが開発中なのです！
私のときのように一体化するのは危険なので
服のように着用する仕様に変更しますが
ミヅキさんも 一着どうです？
ポケモンともっと仲良くなれますよ
とたぷん！
ボテッ
いや いいよ私は
ポケ姦とか 怖いし…
ってかありえないよ普通！
終
制作・著作
かわはぎ亭

これは、没落したエーテル財団の名誉挽回ため、
起死回生の一手として行われた実験の記録である。

では、これから
《試作型メタモンスーツ》の
試用実験を行います。
どたぷんっ！
たぷんっ
たぷんっ

リーリエ様
準備はよろしいでしょうか？
がんばりーリエ！
はいっ！
準備万端です！

体調のほうは？
その…生理とか　大丈夫でしょうか…
せいり…？　あの…よくわかりません…
なるほど…　まだ初潮が来ていないなら
最悪の事態は避けられそうですね…

リーリエ… 本当にあなたがやるの？
何が起こるかわからない危険な実験なのよ？

母様　私はエーテル財団代表の娘です
母様のために　お手伝いをさせてください！
危険な実験だからこそ　私のような
立場の人間が受けるべきです
そ…そこまで言われてしまうと…

そうね　そのときは頼むわよ
代表…　私もサポートいたしますのでいざという時は私が……
？

ここは、エーテル財団の本拠地。そのとある実験室。
無機質な壁に囲まれた密室。
その中にリーリエという少女と、ビッケという女性職員。
一面だけ強化ガラスの窓があり、外から見守る女性。
名はルザミーネ、エーテル財団の代表であり、
リーリエの母親である。

ではメタモンを出します
以後 この部屋の扉はロックされ
完全な密室となります
も～ん

ロックの解除はメタモンの
再捕獲が必要となります
つまり
メタモンがボールの外に出ている間は
扉のロックはかかったままです
ももん！

あ 色違いなんですね
この子が その…
《メタモンスーツ》に
なるんですか？
はい メタモンには
変身能力があります
その能力を活かして
人間に着衣可能なスーツに
なるのがこの子の役目です
もぉ～ん

今、彼女たちが開発に躍起になっている
《メタモンスーツ》とは何か。
端的に言えば、それは人間とポケモンの距離を、
今よりも縮めることをコンセプトとしたスーツである。

エーテル財団はポケモンの保護を活動理念に置いた組織。
傷ついたポケモンの治療。
個体数の減ったポケモンの繁殖。
しかし、人間を恐れているポケモンは少なくない、
保護活動の効率化のため、何としても
《メタモンスーツ》を完成させる必要があったのだ。

では実験を開始します！
リーリエ様　これからメタモンが
覆いかぶさるように体に密着します
一瞬　息苦しいですが
すぐに肌と一体化しますので
安心してください
は…はい！

では メタモンさん
スーツに変身してください
もん！
ふ…不束者ですが
よろしくお願いします！
メタモンさん！

ひゃん❤
も～ メタモンったら
くすぐったいよぉ
ももーん！
え!?
リーリエ!?
様子がおかしい…!?
こんな行動は…
見たことがないです！

ビッケ！
今すぐメタモンを回収して！
こ…こんなはずでは…
ちょ…
ビッケさん！
このメタモン　すごく
エッチじゃないですか？
も～ん❤
キャッ!?

はやく!!
は…　はいっ！
んはぁぁあっ!

メタモン！
やめなさい!!
メタモン！
戻ってください!!
でかいいい…っ!?
お…お股の中に……
入ってきますううう…ッ!?

お…お腹の中にぃぃ…ッ❤
ぐはぁぁぁッ!!
ダメ…!
間に合いません!
リーリエ!しっかりして!

リーリエ様!?
リーリエ!?

なに…!?
何が起こったの!?
私…メタモンを…
体の中に…
リーリエ様…
お体のほうは…!?
リーリエ!!
無事なの!?

リーリエの膣から体内へと侵入したメタモン。
一見、何事もなかったように見える少女の体。
しかしその胎内では、確実にある変化が起こっていた。
お腹の奥が…
疼き…ます…！
モゾ
モゾ

リーリエの体へと侵入した
メタモンが到達した先は、子宮。
このメタモンは《メタモンスーツ》として
触れたものに一体化するよう
特別な訓練を積んだ個体。
そう、彼が一体化した先は子宮であった。
まだ未成熟な子宮は、何色にも染まる白。
彼が作り変えるには打ってつけの苗床だ。
ウネウネ!!
ズンズンズン

メタモンは、あらゆるポケモンと
交配可能な特殊な繁殖能力を持つ。
その能力をリーリエの子宮で再現し、
効率よく繁殖し子孫を増やす。
それが彼（メタモン）の目的だった。
もんも～♪
ズズズ

はぁ…はぁ… アレ？
何とも…ない…？
？
大丈夫です…
実験を続行してください…
一体化はできたみたいです…から…
で…ですが…
これは異常事態です
そ…そうよ！
実験は中止します！

実験中止を進言するルザミーネ。
それもそうだ。今、リーリエの体は
ポケモンを孕めるかもしれない危険に瀕している。
お言葉ですが 母様
メタモンは今 私の体の中
この子をボールに入れなければ
私たちはこの部屋から出られないんです
彼女の汗や唾液、あらゆる体液からは、
ポケモンのオスを魅了するフェロモンが放たれている。
もしこの場に他のポケモンがいれば、
リーリエは犯されてもおかしくない状況だ。

しかし、性知識が皆無なリーリエは危機感も無い。
彼女は「キスをすれば子供ができる」と信じているぐらいには純朴なのだ。
実験を続ける価値は…
コーン！
ポカン…！
え？

シロン!?
ダメじゃない
勝手に出てきちゃ
この子は……
リーリエ様のロコン？
コ～ン

トレーナーの命令もなく
勝手にボールから出てきたのは、
リーリエの相棒のアローラロコン。
名はシロンだ。
まさか!?
今はお仕事中だから
ボールに戻っててね シロン
後で遊んであげるからね
コーン!
彼は今、ある本能に駆り立てられていた。

リーリエ！
シロンから離れなさい！
え？
シロンにとって、またとないチャンスが
転がり込んできたのだ。
彼(シロン)に目覚めたのは生殖本能。

キイイイ

え？

な…!?
シロン!?

これは…
進化の光…!?

「こおりのいし（進化アイテム）」を
使わずに…なんて…
あ…ありえない…!?

メタモンと一体化したリーリエが
放つフェロモンは、シロンの野性を呼び覚まし。
性欲という強い意志は、彼（シロン）をオス（キュウコン）へと進化させた！

コオオ～～～ン！
うわー　おっき～い
よくわからないけど　凄いよシロン
キュウコンに進化しちゃうなんて！

シロンの進化に喜ぶ、能天気なリーリエ。
だが、キュウコンの股にはリーリエの知らない
男の本性がぶら下がっていた。
余りの事態にビッケとルザミーネは声が出ない。
下手にシロンを刺激すれば、何をするかわからない。
だが、このまま見ているだけでは
最悪の事態をただ待つだけだ。
あれ？　シロン
お股にぶら下がってるのって　なぁに？
？
ビキ
ビキ

キャッ!?

!?
リーリエ!?

あわわわわ…
ブル…
ブル…
ブル…
ブル…
ヘナヘナ……
ジワァ〜〜…

リーリエ！
今すぐシロンから離れて！
ビッケ！ あなたも
見てないで助けなさい！
あのぅ… ご…
ごめんなさい…
腰が抜けてしまって…
動けなくて…
ハッ
ハッ
ハッ
シロンってば
も～何するの？

ビッケは、部屋の隅でへたり込んでしまった。
恐怖のあまり、というのもあるが。
シロンのフェロモンに当てられ、
腰が砕けてしまったのだ。
なんてオス臭さなんですか…!?
臭いだけで腰が砕けてしまいました…
ビッケは、ポケモンのオスフェロモンに敏感な体質だった。
その原因は彼女の過去にある。

彼女はかつてポケ姦を経験している。
そのときにポケモンと交配可能な体なってしまった。
《ボテルス》というウイルスの影響によるものだ。
《ボテルス》はポケルスの亜種。

ポケモンの成長を促進させるポケルスとは違い、
《ボテルス》はポケモンの繁殖力を上げる。
人間への感染事例もあり、感染した人間は
グラマラスな体へと成長し、
最終的にポケモンのと交配可能な体を手に入れる。

故にビッケはポケモンのオスフェロモンに
人一倍敏感、効果は抜群なのだ。
逆に、メスとして成熟したビッケのフェロモンは、
シロンにとっても効果は抜群のはず。
なぜ…!?
私ではなく…
リーリエ様が…!?
にもかかわらず、発情したシロンが真っ先に襲う相手は
ビッケではなく、まだまだ尻の青いリーリエだった。
この実験が始まる前、ビッケがルザミーネに言った
「いざという時は私が」という言葉は、「いざという時は
自分が犯されるからリーリエは無事だ」という意味だった。

一方、ルザミーネは目の前で
娘が穢される状況に、半ば半狂乱。
娘を愛す親ならば、当然の反応だろう。
イヤーッ!!
誰か止めて！
ここを開けて!!

しかし、親心子知らず。
性知識が皆無なリーリエは、
現状を正しく判断できていなかった。
母様？
いったい何をそんなに
焦っているんですか？
ほら シロンとの距離も
こんなに近づきました
私に怖がる様子も全くありません
メタモンスーツの実験は成功ですね！

リーリエ！
リーリエ様！
おっ
ビクッ

グルルルル…
リーリエ！
逃げなさい！
もうシロンったら　何？
おちんちん押し付けて
汚いよ？
逃げてください！
リーリエ様！

嫌ァ！
リーリエ!!
リーリエ様!!

コーン…
ウソ…うそよ…
これ…おちんちん…？
おちんちんが…
お腹に入っちゃった…!?
こんなことに…
なるなんて…

リーリエは状況が理解できなかった。
シロンが自分の体内にペニスを挿し込んだ理由も、
痛みの中に潜む魅惑的な快感も。
リーリエは予想だにしていないだろう、
自分の胎の中で壮大なラブストーリーが
繰り広げられていることを。
ついに出会ってしまった運命の二人。
男性器と女性器
しかし、2人は出会うべきではない異種だった。

ハッ
ハッ
ハッ…
ズリュ
え!? 何が起こって…!?
シロン… 何やってるの!?

シロン！
今すぐやめなさい！
嫌ァ！
おっ！
おっ！
ほ！
ほぉっ！
その行為にまだ耐えられる
ような体じゃありません！
シロンさん！
リーリエ様は
あなたのセッ…

待って…あへっ
シロン…っおっ
おっほ
なんで!?
こんなこと…っ!
私…シロンに襲われてる!?
怖い…! 何されてるの!?
気持ちいいのが余計に怖い!!
変な声出ちゃってる…!?

キュウコンにとって初めての女体、初めての交尾。
そう、彼は童貞だ。一心不乱に腰を振る。
その度に快感が走る。これが交尾なのだと彼は悦ぶ。
ハッ
ハッ
ハッ…
シロン…気持ちよさそう…
なんでかわからないけど…
シロンがこうしたいなら…私は…
相手（リーリエ）に気を使う余裕はない、
独りよがりな腰使い。
何も知らないリーリエでも、
不器用な腰使いにシロンが慣れない事で
手こずっているのは伝わった。

なぜ自分が襲われているのかわからないが、
シロンから悪意や敵意は感じられない。
もっと純粋な何かをぶつけられている。
むしろ好意を向けられている。
キュキュ～ン…
んっ…
はぁ…
もう…❤
甘えん坊なんだからっ❤
いつの間にか、
リーリエの中から「恐怖」は消えていた。

母様　ビッケさん…
私は…大丈夫です…
リーリエ…
リーリエ様…
シロンは…ちょっと…
激しめに…甘えてるだけです
こんなスキンシップも
できるようになるなんて
メタモンスーツって凄……

リーリエぇぇ!!
リーリエ様ァ!?

え…？
お腹が重い…!?
膨らんだ…!?
妊婦さんみたいに…
んお…っ
ほへ!?
妊婦!?
何か注がれた!?
この白いドロドロは何!?
おちんちんが脈打って…
お腹が熱い!?
射精された…
あんなにお腹が膨らんで…
ウソ…
こんなの！
ウソよ！

状況を整理しようとするリーリエ。
しかし、性知識の無いリーリエにはわけがわからない。
だが、妊婦のように膨らんだ腹から
「妊娠」連想するのはリーリエでも容易だった。
そもそも、考えようとしても
胎から込み上げてくる快楽で
思考がまとまらない。
知らない現象だが、気持ちがいいのは事実。
だからこそ、恐怖を覚える。

だが、気持ちよさそうなシロンに何故かホッとする。
彼をもっと気持ちよくしてあげたい、幸せにしてあげたい。
そんな庇護欲に駆られるのだった。
クゥ～ン…
シロン…？

シロン…気持ちいいの？
コン！
大丈夫…私も…気持ちいいから
シロンの好きに動いていいよ？

んはぁっ！
シロン！
シロンが気持ちいいなら…
んへっ
私は…っ
ホッペチュ！
気持ちいい？
んっほぉ！

リーリエが壊れちゃう！
私のリーリエが！
ビッケ…どうにかできないの!?
嫌ァ！
この今短時間で…
ポケモンの巨根と射精に…
もしかして…リーリエ様は…
《ボテルス》に感染していた!?
適応している…!?

代表！
リーリエ様は《ボテルス》に感染している可能性があります！
《ボテルス》って貴女が感染しているアレ!?
はい ポケモンとの交配に耐えられる体になります…
ですが… その代償として…

ボテルスの代償…
リーリエ…そんな…
でも…無事に帰ってこれるなら…
射精のタイミングを
すでに掴んでいる…!?
こんな年端も行かない体で…
にゃにかくりゅ(何か来る)…っ!
さっきのドクンってやつ…っ❤
おちんちんから…
気持ちいいヤツ!

コォーン!!

ドゴッ!!
ほへぇぇぇっ!
ちんちんからキモチイイの
ビュービューきたぁぁぁぁぁっ!!
おにゃかが悦んで
りゅうぅっ

ほっ ほっ
ほんげぇえぇ～～…
コォ～ン…
おにゃかおん(お腹)もお～～
しあわし(幸せ)え～…
シロンも幸せ？
コン！
一緒だね 私も
ゴクッ
ゴクッ

リーリエの口から出てきた「イク」という単語。
絶頂の意味も解らなかったが、
「イク」という言葉だけは自然と漏れた。
もはやリーリエは快楽に抗う気は無かった。
シロンと一緒に気持ちよくなりたい。
そんな感情が優先された。

今 私… イクって言った？
知らない言葉なのに
勝手に出てきちゃった
えぇ
おかしいね シロン
コン！

リ…リーリエ様…
お体の方は…
ビッケさん 大丈夫ですよ♪
ちょっとお腹が重いかなぁ～
って気はしますけど…
こんなにお腹が
膨らんでいるのに…
体は無事…
代表 やはり
リーリエ様は…
そ… そのようね…
良いのか…悪いのか…
わからないけど…
とにかく無事に
帰って来て… リーリエ！

リーリエは間違いなく《ボテルス》に感染しているだろう。
ボテルスに感染した少女は、普通とは違う発育の良さを見せるのが特徴だ。
しかし、リーリエの場合は潜伏期間だったのだろう。
あれ…？
おっぱいから…なにこれ…？
それが、ポケモンの精液を子宮に受け、《ボテルス》が待ってましたと言わんばかりに活性化しだしたのだろう。
今まさに、リーリエという少女の体は、母体へ進化している。
そして、その決定的瞬間が訪れた。

!?
ぐぐぐ…！
ぐぐぐ…！
ぐぐぐ…！

早速、症状が出る。
それが、乳腺の活発化による
乳房の膨張と射乳だ。
え…!?
おっぱい(母乳)…!?
リーリエが…
私のリーリエが…
こうなるとは…
思っていましたが…
リーリエ様を…
こんな目に合わせて
しまうなんて…

母乳、それぐらいはリーリエでもわかる。
故に自分の体は、子供を産もうとしていることは
性知識がなくとも紐づけられた。
妊婦のように膨らんだ腹、
胸から溢れる母乳、
結合部から発生する快楽、
膨らんだ子宮から込み上げる多幸感。
少しずつだが、リーリエはキュウコンが自分に何をしているのか、
彼が自分に何を求めているのかわかっていく。

キュ～ン…
シロン…
あなたもしかして…

コン！
いいよ❤
もっと出して
あのドピュドピュ
そっか…わかっちゃった❤
私…今…シロンの…作ってるんだ
こうやって…作るんだ…❤

コンッ!!

おにゃかが幸せになりゅ
お汁きたぉぉぉぉぉっ!!
おちんぽ
ビュッ!!

赤ちゃんの素おおおお!!
これが…!
え…!?
ビクビクビク…!
ドバドバドバ
ハァハァ

ぴくん…！
ぴくん…！
ドバババッ
ドババッ
言ニの赤ちゃん…っ
産みゅうううーーっ!!

リーリエ…
気づいてたの…!?
リーリエ様
なんでそれを…

言葉を交わさずとも通じ合う、
種族が違ってもオスとメス。
えへへ。
おへっ。
やっぱり…
そうなんだ…
赤ちゃんって…
こうやって作るんだ…
リーリエは悟った。
シロンは自分に子供を産んでほしいのだ。
そして、これが子作りなのだと。

ズリュゥゥゥ〜〜〜〜…
ぬっちゃああ〜〜〜…
もっと…
シロンともっと…
仲良くなりたい…
人間じゃなくて
ポケモンとして…
シロン 作ろ？
私たちの愛の結晶…❤

シロンと二人三脚で、この行為を
もっと気持ちよく、上手になりたい。
動機こそは初々しいがその実態は、
恋人が愛を確かめ合うセックスでもなければ、
子作りを行う夫婦の妊活でもない。
ぐぼっ
おっほ!
ぐぼっ!
ほぼっ!!
ドスッ!
ドスッ!
ドスッ!
ドスッ!

上手ぅ❤
最初より…
いいトコ…
当たりゅう！
ただただ、子孫繁栄のためだけの本能のぶつかり合い。
生殖本能という生物のプログラム通りに腰を振る機械。
獣の交尾そのものだ。

私のリーリエが…
こんな顔をして…
こんな声を上げるなんて…
なんて下品な…
あの…リーリエ様が…
清楚さの欠片もない…

ズリュゥゥゥ〜〜〜〜…
母様…！
見ていてください！
リーリエが…
ママになるところ！
母様の孫を作ることろを！

見てぇ!!

ぐぉ!?
ぐぉ!?
ぐぉ!?

ぴゅるるるるる
どくん…！どくん…！
ぴゅーーっ！ぴゅーーっ！
ボゴォォッッ
リーリエのおまんこに
あかちゃん汁注がれるところ…
見てエエエエッッ!!

ぷるるる

リーリエ…
やめて…そんな
顔しないで…
そんな下品な言葉…
使わないで…
ちんぽヤベェです…
子作り気持ち
良すぎんだろです…
んへぇ～～
にひひ～～えへっ
ビクン!
ビクン!
ビクン!

娘が悦んでいる…。
苦しんでいるよりは、遥かにマシだ。
幸福感を体全体で表現している。
綺麗だった顔を歪ませ硬骨な表情を浮かべている。
ルザミーネは憤りを感じずにはいられなかった。
このグチャグチャな感情はどこに向ければいいのだろうか。

ポケモンとの交尾。
人間とのセックスでは絶対に味わえない、
巨根と射精量による、快楽の濁流。
ヤ…ヤベェ…です…
戻れなくなる…
ニンゲンに…
思考が…
できねぇです…
脳みそが…
溶けやがる…です
そんな非常識な快楽を、
生殖の仕組みを知ったばかりの無垢な少女が
その未熟な精神で受け止めている。
理性は今にも崩壊寸前。
快楽を処理しきれない脳はショートし、
思考を子宮に乗っ取られたような感覚に陥る。

「子宮＝自分自身」のような錯覚、
それは、あながち錯覚でもなかった。

ドクン！
ドクン！
ゴクゴク
ゴクゴク
ヒュウ！
ヒュウ！
キュッ！
キュッ！
キュッ！

フォオオオ……
あっへえええ〜〜……
はれちゅすりゅ…っ
おにゃかもう無理ィィィィ…っ
ボテェ〜〜

リットル単位の射精が、
男を知ったばかりの子宮に流れ込む。
しかも、精液が溢れる様子がない。
子宮で全て包み込んだのだ。

ついさっきまでは、一度も排卵したことすらない。
生殖能力の備わってない未熟な性器だった。
しかし、ボテルスの影響か、それともリーリエ自身に備わっている転生の素質か。
一滴たりとも溢すのはメスとして無作法と言わんばかりに礼儀正しく完食する。
気品高くも下品な子宮に調教されていた。
ゴボ…ゴボボ…
ビクン!
ギチ…

ズズズ…
ズズズ…
ズズズ…
ビクン!
ビクン!
ビクン!

ウズッ
ウズッ
おおおおおっ!!
私…シロン専用の
孵化厳選メタモンになるぅ!
おっ!
おっ!
ビクン!
ビクン!
ビクン

子宮の脇で今か今かと
自分の出番を窺う者がいた。
それは卵巣。
でりゅ…っ!?
何か出りゅ!!
ウズ…
ウズ…
まだ一度も排卵したことがない
リーリエの卵巣だったが、
初めてのときが今
この瞬間に来たのだった！

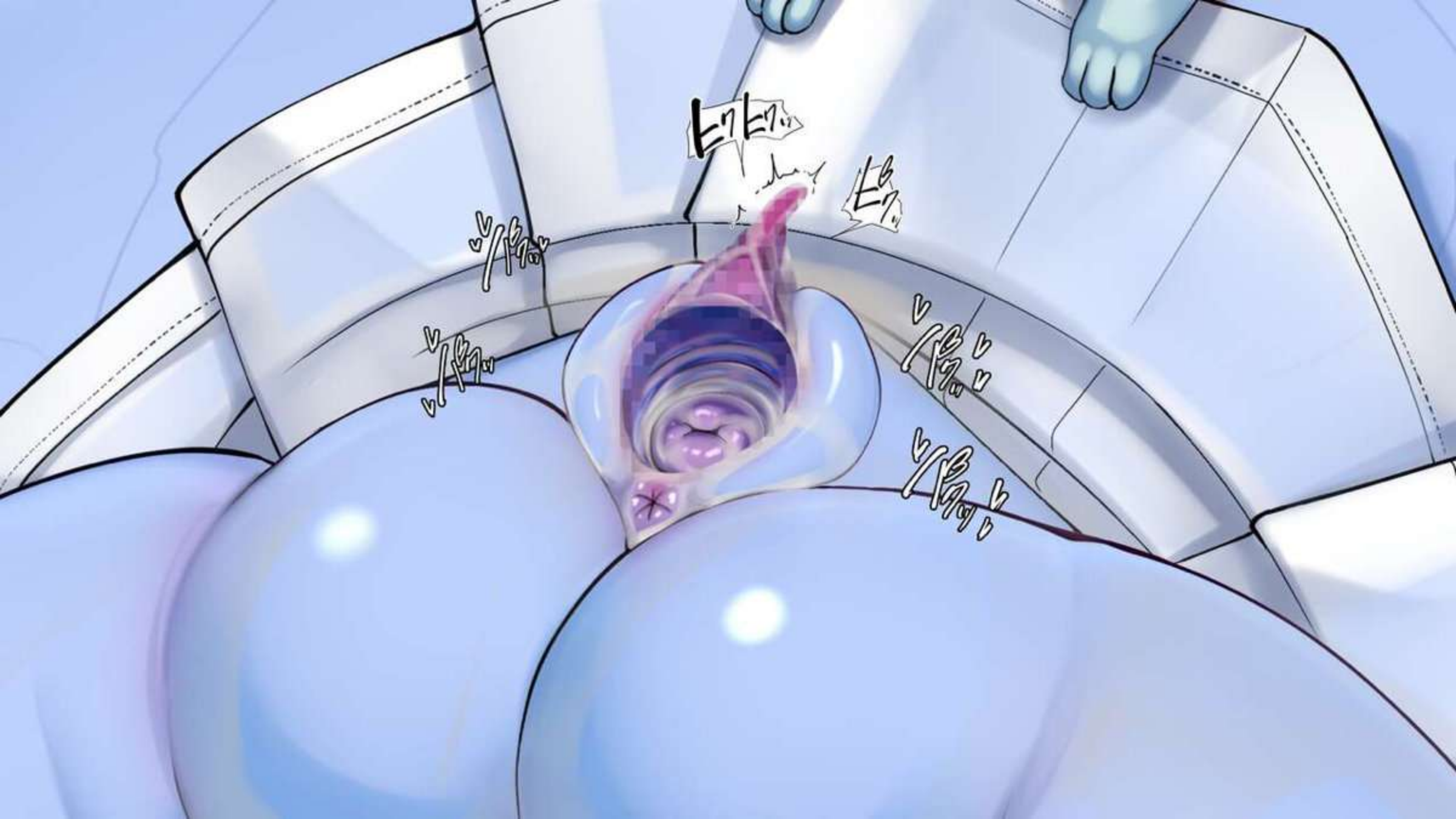
ゴクゴク
ゴクゴク

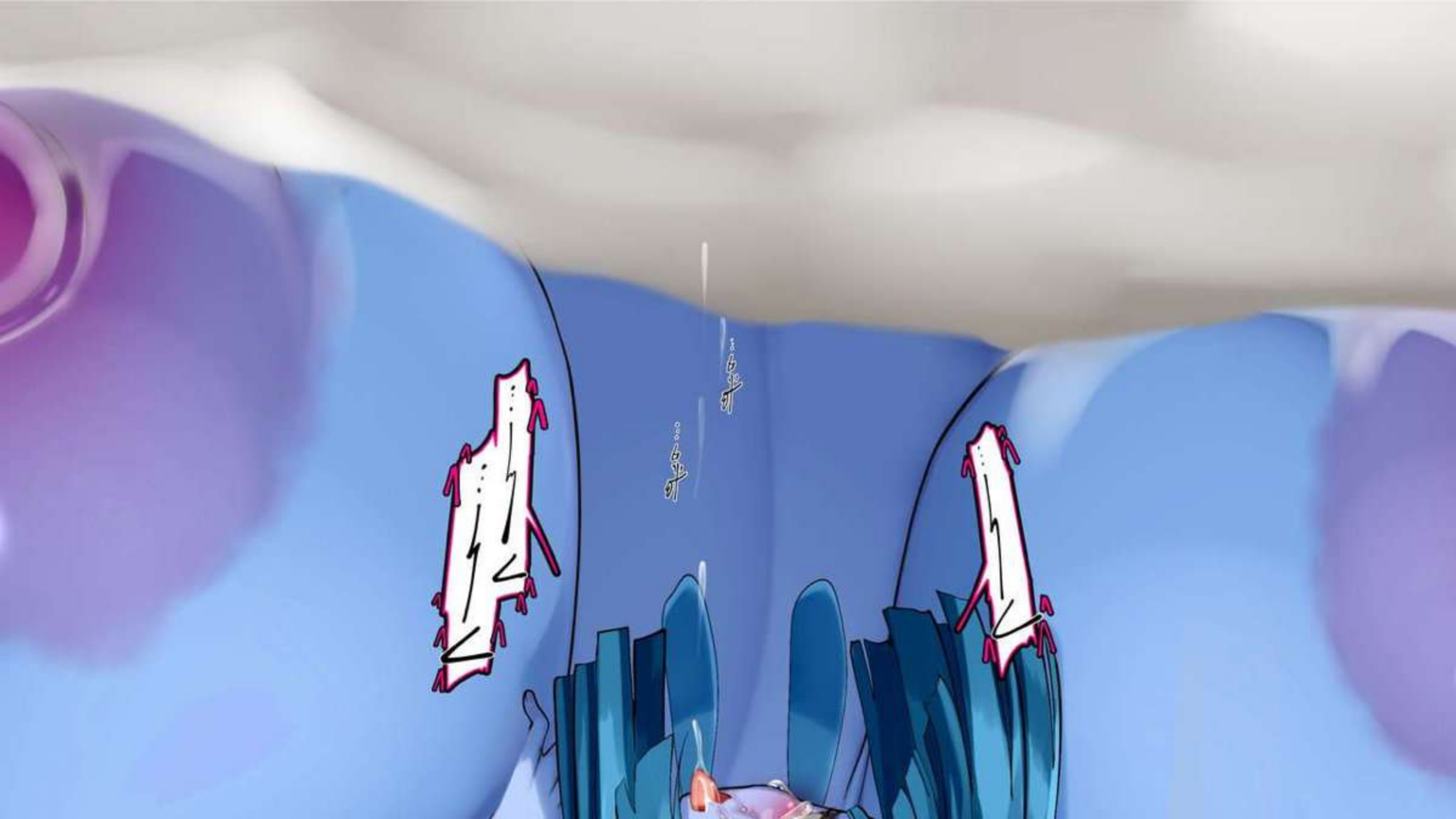
私…犯されてる…
数百…数千億の精子に
輪姦されてる…

リーリエの目の前が真っ白になった。
比喩ではなかった。
子宮の脇に実る卵巣。それが、大きく脈打った。
瞬間、チクッとした排卵痛とともに
彼女の意識は一瞬途絶えた。
次の瞬間、全身を包むオス臭い液体に
全身を犯された。数千億のオスに。
イキ過ぎて感覚が研ぎ澄まされたのか、
まるで卵子になったような感覚だった。

受精の衝撃、自分の細胞が分裂していく
感覚すらハッキリとわかる。
そして、リーリエは気が付いた。
自分が自分ではなくなっていることに。
リーリエ…

フーフー えへへっ❤
シロンの赤ちゃん… いっぱい❤
コン？
頑張って元気な赤ちゃん産むから
これからよろしくね！




白平
白平

こ…
ここは…？

お気づきに
なられましたか…
リーリエ様…
ビッケさん？

リーリエ！
リーリエしっかりして！

母様…
リーリエは大丈夫です！
スゥ…
スゥ…
シロンも…
元に戻ってたんですね…
はい…
「こおりのいし」を使った正式な進化ではなかったためか…
一時的なものだったようです

そっか…
でも…これで証明されましたね
メタモンスーツの実用性
スゥ…
スゥ…
はい…
ポケモンの警戒心を
解く効果は実証
されましたが…
ポケモンを発情させて
しまうのは…想定外でした…

うぐ…っ!?
リーリエ…!?
!?
コン?
ビ…ビッケさん!
なにか…変です…
お腹の奥から…っ
…っ! リーリエ様
気をしっかり持って
聞いてください!
あなたはこれからポケモンの…
タマゴを…産みます!

タマゴを産んでから
入れ替わるんだった…！
安心してください！
私も…経験があります！
きっと… 絶対に大丈夫です！
コーン！
シロンさんも
応援してくれてます！

がんばって…
リーリエ…
私の呼吸に合わせて…!
ひっひっふー
ひっひっふー
で…出てきた…!
思ってたより大きい…
リーリエ様の頭ぐらいある…
も…もう少しです!
リーリエ様
ひっひっふー
ひっひっふー

!?
!?
!?
!!
!!!

産みゅうううー!!
ひゅるるるるるるるる
産卵アクメぞぞぞーッ!!
ボボボッ
ボボボッ
ドチャ

あれが…リーリエの…
私の…
産んだ…私が…
こんなにおっきなタマゴ…
ポケモンの赤ちゃん…
おつかれさまです…
リーリエ様…

うぐっ!?
リーリエ!?
肌の色が…!?
ズズズ…

も～ん…
う…
産まれる…っ

で…出たわね
この野郎！
メタモンさん!?
もも～ん

ビッケ！早くその淫獣（メタモン）を捕まえて！
モン！
は…はい！

もん!?
ももん!?
何かメタモンの様子が…
おかしいです?
何か我々に伝え
たがっているような…

良いから早く捕まえて！
またリーリエが
犯されたら許さないわよ！
もぉ～ん!!
ふふ…っ　大丈夫だよ
すぐに自分が人間
だったことも忘れるから…

ですが…
今回の事故は
私の責任です…
私は どんな処分も
受ける所存です…
ふぅ…
一件落着…ですね

ビッケさん　母様
私は今回の一件も一種の
「ポケモン保護」だと思いました
!?
え？
!?
何を言ってるのリーリエ!?
あなた…犯されたのよ…!?

最初は事故だったかもしれません
ですが私は途中からは望んで犯されていました
シロンをスッキリさせてあげたい
赤ちゃんを産んであげたい
これは紛れもなく私の本心です

ポケモン保護の根幹は
ポケモンへの慈愛…
その究極系ね…
それが…
エーテル財団の成すべき道…
なのでしょうか…

わかったわリーリエ…
私は否定しません
あなたは あなたの成すべきと
思った方法でやってみなさい
ビッケ 貴女に
処遇を与えます
は…はい！
今回の失態の責任として
リーリエのサポートをしなさい
は…はい!!

なんて事があったんです

え!?
!?
それ…ホントなの…!?

ってかリーリエさ…
つまり……その…
ポケモンと…ヤっちゃったの!?
はい!
このお腹を見て
ウソに思います?
だよね…
そのお腹が
物語ってるよね…
もんもん

で そのメタモンが
実験のときの犯人なの？
リーリエが犯される原因の

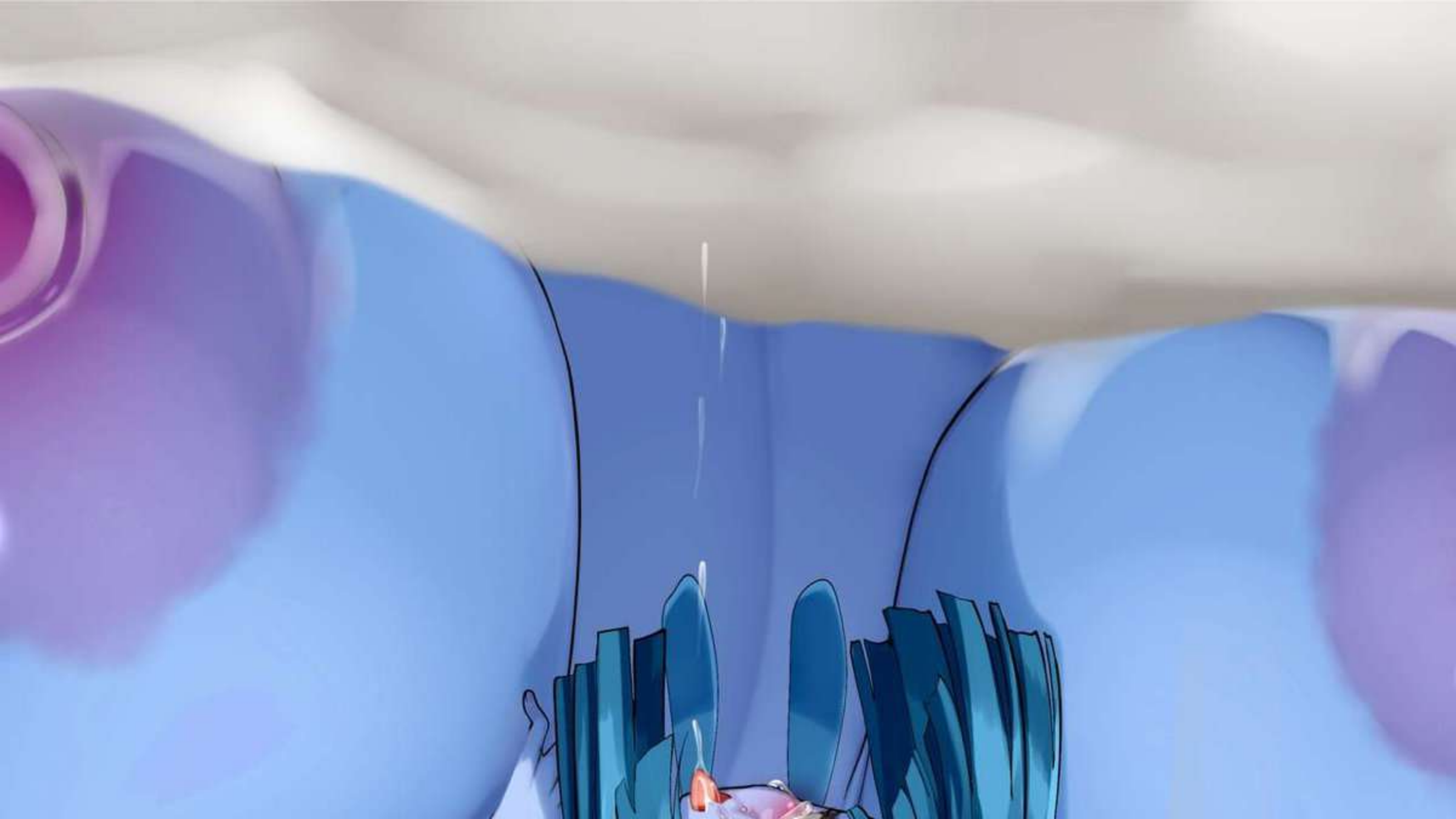
まぁ そうですね
犯人って言い方が
正しいかは微妙ですが

どたぷんっ！

もんもん

も？

ふふ…彼女はもう元の…
いえ…今ではただのメタモンです
犯人という言い方は可哀そうです

いやいやいや
ただのメタモンは
人を襲ったりしないって

なにはともあれ
その実験データを基に
メタモンスーツが開発中なのです！
私のときのように一体化するのは危険なので
服のように着用する仕様に変更しますが
ミヅキさんも　一着どうです？
ポケモンともっと仲良くなれますよ
どたぷんっ！
いや　いいよ私は
ポケ姦とか　怖いし…
ってかありえないよ普通！
終
制作・著作
かわはぎ亭